


とやまエコ・ストア制度登録店の取組み実績（令和3年度）

上記の取組み（1レジ袋無料配布廃止、2資源物の回収、3低炭素化の取組み）により、次のような効果が得られると推計されます。（[]内：2年度との比較）


① ごみ排出削減量

1,799 t [-335]	(レジ袋の削減量)	
・富山県内のごみ総排出量（420,962t (R1)）の0.4%分に相当		

② リサイクル量

3,248 t [+36]	(資源物の回収量)	
・富山県内のリサイクル量（109,240 t (R1)）の3.0%分に相当		

③ 最終処分（埋立）削減量

622 t [+18]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量から、これら进行处理したときに発生する焼却灰や不燃物の量を推計)	
・最終処分量（37,103 t (R1)）の1.7%分に相当		


④ CO₂削減量

35,483 t-CO ₂ * ¹ [-1,367]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)	
<ul style="list-style-type: none"> ●富山県の約7,300世帯分の年間CO₂排出量に相当*² ●県民1人当たり年間34.8[kg-CO₂]の削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間87.1[kg-CO₂]の削減量に相当 		

※1 富山県内の民生業務部門のCO₂排出量（1,486[千t-CO₂] (R1)）の2.4%分に相当

※2 1世帯の年間CO₂排出量を4.86[t-CO₂/年] (R1 富山県推計)として推計

⑤ 原油削減量

12,031 kl* ¹ [-428]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)	
県民1人当たり年間11.8[l]の原油削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間29.5[l]のガソリン削減量に相当* ²		

※1 ドラム缶 6.0[万本]に相当

※2 原油が全てガソリンに精製されると仮定

県民の皆さんと事業者の皆さんとの協働の取組みは、ひとつひとつは小さな行動ですが、これが輪となって広がって、大きな効果を生みます。
お店とのエコ活動をきっかけに、家庭や職場でもエコライフの実践を“あたりまえ”にしましょう！

